

学校だより 令和2年8月20日号



# やなぎっこ

北九州市立大里柳小学校 校長 松中 保明

【学校教育目標】:これからの社会を生き抜く3つの視点…「自律」「協働」「創造」  
「自ら学び続け、人間性豊かに、たくましく生きる子どもの育成」  
～SDGsの視点を基に大里柳小の強みを「つなぐ」「かさねる」「つらぬく」学校教育の創造～

【目指す子どもの姿】:6つの好き「友達・先生・柳校・柳のまち・学ぶこと・自分」  
～夢を語り合い、仲間とともに価値あることを創造し、  
自らを問い直しながら粘り強くやり抜く大里柳っ子～  
○【やさしく】:夢を語り合い、お互いを尊重し合う子ども→自律・協働・創造の「種」  
○【かしこく】:仲間とともに価値あることを創造する子ども→協働・創造  
○【たくましく】:自らを問い直しながら粘り強くやり抜く子ども→自律

## ～前期後半スタート「明るい方へ 明るい方へ」～

日頃より、本校教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

やなぎっこたちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。各家庭におかれましては、感染症及び熱中症に気を付けながら、いつもとは違う、それでもご家族での時間を大切にされた夏休みを過ごされたことと思います。その一方で、この夏、各地を襲った豪雨において被災された方々もおられます。一日も早い復興を祈念いたします。本校においても、感染症対策及び熱中症対策に努めることはもちろん、秋の長雨や台風等の自然災害についても、この先を見据えた対策を講じながら、安全・安心な学校づくりに全力で取り組んでまいります。

また、前期後半から後期前半(9月～11月)にかけては、感染症・熱中症対策を講じながら

- 柳の町や施設の方々と可能な範囲で連携した課題解決学習
- 道徳科や異学年交流を中核とした特別活動による心の教育
- 為すことによって学ぶ、体験を重視した学習 などを実施予定としております。

今の世の中は、先が見通しにくく、明確な答えの無い時代であると言われる。1年前に一体誰が、今の様な我慢を強いられる世の中を想像することができていたでしょうか。少なくとも私は想像することはできませんでした。先の見通しにくい現状が目の前にあると、どうしても人は見えないものには誰しも不安を感じてしまいます。それはある意味仕方のないことかもしれません。しかしながら、見通しにくく答えの無い時代だからこそ、どのような道を選択し答えを導きだすかについては、一層、一人一人に委ねられているとも考えることができそうです。もちろん、社会のルールやマナーに沿った上で、です。

「明るい方へ 明るい方へ」。詩人金子みすゞさんの言葉です。

これからの未来を生きる子どもたちには、前を向いてほしい。子どもたちが自ら導き出すその答えが明るいものであってほしいと願ってやみません。だからこそ、できないことを嘆くのではなく、現状でできることをみんなで見つけ出し、力を合わせて実行していこうとする、「夢を語り合い、お互いを尊重し合う」心が大切だと考えます。そのために、保護者の皆様、地域の皆様のご協力をいただきながら、本校職員一同力を合わせて、毎日を頑張っているやなぎっこに寄り添いながら、全力を尽くしてまいります。

繰り返しになりますが、やなぎっこたちが笑顔で元気に学校生活を送ることができるのも、日頃からの保護者様、地域の皆様の学校へのご理解、ご協力のおかげです。誠にありがとうございます。これからも職員一同、「自分の命は自分で守る。その行為が周りの人の命を守ることに繋がる」という思いやりの心と、これまで同様、人と人との繋がりや周りの方々への感謝の気持ちを大切にした学校教育活動を行ってまいります。前期後半も保護者様、地域の皆様からのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 【感染症拡大予防下における登下校中の熱中症対策について】

感染拡大予防のため、原則、マスクを着用した登下校(熱中症対策としてできませんでしたら帽子も)をお願いします。

ただし、熱中症対策として、3密を防ぐ(1～2m程度、周りの人との社会的距離をとる)状況を自分でつくった上で、マスクを外して休憩する、立ち止まってお茶を飲む、マスクを外す際は私語を控えることなど、繰り返し指導を行っております。

※裏面には、教育委員会からの「児童生徒等の登校判断の変更について(7月29日付配布)」を再度掲載しています。ご確認をお願いいたします。

### 【本校職員の異動のお知らせ】

教育委員会辞令に伴った本校職員の異動についてお知らせいたします。  
〈ありがとうございました〉

〈よろしく申し上げます〉